

今回のトレーニングドッグ

Training
セラピードッグへの道

セラピードッグの
基本トレーニング

今回のテーマ: 誘惑物(動くもの)

目標: さまざまな誘惑物(動くもの)があっても
トレーナー(自分)の指示に従うことができる。

ゆき

やってみよう!
Let's try!!

Step1 アイコンタクト

Step2 誘惑物(1)が目の前を横断

Step3 トレーナー(自分)に集中させる

Step4 誘惑物(2)が向かってくる

Step5 ほめる

ポイント

これはNG

☆トレーニング☆

☆メディア情報☆

ORANGE JACKET Dog Therapy

有限会社かりゆし
ドッグセラピー事業部 会報誌

Vol. 18 / 春号
2015年

Contents

- 理事長ごあいさつ
- レポート:ドッグの健康チェック
- コラム:ドッグセラピーの現場から
- お知らせ:オレンジカフェ
- トレーニング:誘惑物(動くもの)

【理事長ごあいさつ】
「オレンジカフェ(認知症カフェ)」で
集団ドッグセラピーを本格スタート



理事長 生長 豊健
医学博士
日本内科学会認定内科医
岡山県認知症サポート医
医療福祉法人雄風会理事長
社会福祉法人義風会理事長

いつもドッグセラピー事業部の研究・活動にご協力とご理解をいただき、誠にありがとうございます。2015年度は大きく分けて2つの方向で活動を進めて参ります。

1つは、昨年より継続している「言語」に着目した調査研究です。通常、認知症高齢者は言葉による意思疎通が困難です。ところが、ドッグセラピーを実施するうちに言葉が理解できるようになり、発語が増えた認知症高齢者を、私たちは何人も目にしてきました。この経験をもとに仮説を立て、ドッグセラピーによる会話能力の変化を調査し、ステージ分類しています。会話ができれば入浴や口腔ケアなど、さまざまな場面で介護者の負担が軽減されることから、ドッグセラピーと認知症高齢者の介護量の相関関係も合わせて調査しています。

2つ目は「認知症カフェ」における集団ドッグセラピーの構築です。「認知症カフェ」とは、認知症の人や家族を地域で支える場の総称。厚生労働省の「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」に

認知症カフェの普及推進が盛り込まれており、いま全国各地で取り組みが広がっています。岡山市では民間委託事業として2014年11月にスタート。ドッグセラピー事業部は、当初から義風会の「オレンジカフェ」で月1回、ドッグセラピーを実施。2015年4月より月2回に増やし、集団ドッグセラピーに取り組んでいます。カフェにはどなたでも参加できますが、とくに、他人との交流が少ない認知症の人がドッグとふれ合うことで、外出への意欲を高めてくださることを願っています。なお、ドッグセラピーを活用した認知症カフェ事業は全国に先駆けた取組事例。1年間の実施内容をまとめて成果報告を行い、先進モデル事例として構築したいと考えています。

このような調査研究や活動により、ドッグセラピー事業部はドッグセラピーを日本国内に普及したいと考えています。セラピードッグとふれ合う認知症高齢者の笑顔は素晴らしい。これまでTVや新聞などで紹介され、多くの方に賞賛いただきました。それなのにドッグセラピーが日本で普及しないのは、

なぜでしょう。ドッグセラピー事業部には100人近くの方が見学に来られました。みなさん、活動には賛同されますが、ドッグセラピーによる収入がないことや、実際の経費をお伝えすると全員断念されました。無念さを痛感した私たちは「日本でドッグセラピーを普及するには経済的自立が不可欠。ドッグセラピーの介護保険制度収載を目指そう」という考えに至りました。みなさまには引き続き、ご理解とご協力をお願いするとともに、「オレンジカフェ」へのご参加・お問い合わせもお待ちしています。

〈お問い合わせ〉
有限会社かりゆし ドッグセラピー事業部
〒701-1333 岡山県岡山市北区立田587番地
TEL.086-905-0111(直通) FAX.086-287-8261
E-mail. dog_therapy@ikenaga-group.jp
http://www.therapydog.jp







ドッグセラピー事業部のドッグたちは、みんな、ワクチンなどの予防注射に加えて、獣医師による定期的な健康診断を受けています。また、スタッフが毎朝、全頭の健康チェックを行い、体調を確かめてセラピーを実施しています。

毎朝の健康チェック

朝食の後、順番に健康状態をチェックします。

モデル：メロン

<p>1 目</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 充血していないか ● にごりがないか ● 異物が混入していないか ● 目ヤニの有無 	<p>2 鼻</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 乾き具合 ● 乾燥していないかどうか <p>※敏感な場所なので触るときは軽く。</p> 	<p>3 歯</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歯茎の色(普段より赤くないか、白くないか) ● 歯石がついていないか ● 舌の色は正常か 
--	--	--

<p>4 歯みがき</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2日に1回程度、歯ブラシを使って歯を掃除します。 ● 歯石があればスクレーパーを使って歯石を取り除きます。 <p>※歯石や虫歯は体調不良の原因になるので注意します。</p> 	<p>5 耳</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 耳あかがたまっていないか ● たまっていたら→鉗子に綿を巻いて耳をふきます。 ● かさぶたが赤くなっているか <p>※プードルなどは耳毛が伸びるので耳毛をこまめに抜く必要があります。</p>  	<p>6 足の裏・指の間・爪</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 赤みやかさぶた、発疹がないかチェック ● 足裏が乾燥しているときは場合によってはクリームを塗ります。 ● 爪が伸びていたら切り、必ずヤスリをかけて丸くしておきます。 <p>※セラピーのある日は念入りに行います。</p>   
---	---	--

<p>7 おなか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● できもの・腫れはないか 	<p>8 肛門まわり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● できもの・腫れはないか 	<p>9 毛</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毛をときながら抜け毛の量をチェック ● フケは出ていないか 
---	---	--



健康チェック完了！
今日もセラピーがんばろう！

+1年2回の健康診断

緊張するな... ドキドキ。

モデル：シャイン

ドッグセラピー事業部のドッグたちは、みんな「やさか動物病院」(岡山市北区)で1年に2回「Dog Dock(健康診断)」を受けています。内診のほかに、血液検査、尿・便検査、フィラリア検査などを受診し、食事のアドバイスなどを受けます。蚊の予防薬で感染を防ぎ、各種予防のためのワクチンを接種。健康な状態でセラピーに臨んでいます。

血液検査を受けます。

ちよつと痛いよ。えらいねえよ。

よくがんばりました！

今日は、狂犬病のワクチンも打ちました。




シャインは2009年7月14日生まれ6歳。人間の年齢に換算すると、およそ40歳！ちよびり健康が気になるお年頃です。

毎月1日リフレッシュ

セラピードッグのリフレッシュ(休日)を目的に、ひと月に一日、近隣の公園などへ、お散歩に出かけます。

2015年3月26日
お花見に行きました！
場所：酒津公園



ドッグセラピー実施計画書

私たちは、セラピードッグによる動物介在療法「Animal Assisted Therapy=A.A.T.」で認知症患者様に「自分らしい時間」を取り戻していただきたいと願っています。そのため、私たちがドッグセラピーを導入する際には、フェイスシートやアセスメントシート、介護現場の施設のケアプラン等も考慮した上で目標を設定して「ドッグセラピー実施計画書」を作成し、ご家族の同意・承諾を得てドッグセラピーを実施します。さらに、医師・施設長をはじめ、利用者様のケアに携わるスタッフが毎週1回ミーティングを行い、ドッグセラピー実施記録をもとに定期的な評価と話し合いによって実施計画の見直しを図っています。

ドッグセラピー導入からゴールまで

- 1 利用者様の情報・データ収集/同意書へのサイン**
 - フェイスシート、ケアプラン、その他病歴や生活歴のわかる書類等、ドッグセラピー導入前の長谷川式スケール・MMSEなど各種認知症評価データ等を収集し、ご家族や介護士にもヒアリングします。利用者様の健康状態やADL(できること・していること・できるだけしていないこと)、感情表出や問題行動の有無、「好きなこと」「やりたいこと」などを把握。
 - ご家族の同意を確認し、書類にサインと捺印をお願いします。

2 ドッグセラピー実施計画書の作成

- 現場の介護サービス担当者チームと同じ目線で問題点や目標を把握し、ゴールを設定。目標や実施方法、実施回数を決定します。

3 ドッグセラピー実施

セラピードッグへの愛着や信頼関係が築けるように、最初は、ふれ合いが中心。セラピストの観察・評価により段階を移行(ステップアップ)します。

<ステップアップの方針>

ドッグセラピーを実施した日数や時間ではなく、到達度に応じてステップアップします。利用者様の到達度に合わせてケアカンファレンスに図り、継続または終了を決定。継続の場合は目標や方法を改めて設定します。

第5段階 「ゴール」
ケアカンファレンスによる評価・まとめ

第4段階 「自主性の尊重」
自発行為の促し、発語などの確認

第3段階 関係作りと目標への取り組み
役割感・いきがい感などを意図した舞台づくり

第2段階 一定ルールに従ってのセラピードッグとの関係づくり
簡単な制約を設けて喜びや達成感につなげていく関係づくり

第1段階 「セラピードッグとの自由な関係づくり」
不安・恐怖心の除去/
自由なふれ合いによる関係づくりの促進

4 ドッグセラピー記録・定期的なケアカンファレンス

ドッグセラピー実施記録をもとに、1ヶ月ごとの定期的なケアカンファレンスで評価を受け、実施計画の見直しを図ります(または終了)。

セラピードッグとふれ合いを！ ～オレンジカフェ～ 毎月2回ドッグセラピーを実施

社会福祉法人義風会の特別養護老人ホーム「いきがいライフたかまつ」は、2014年11月より毎週水曜の午後に、岡山市委託事業「オレンジカフェ(認知症カフェ)」を開いています。ドッグセラピー事業部は、このカフェ事業に協力し、月2回・各20分程度のドッグセラピー(集団)を行っています。みなさんもセラピードッグとふれ合ったり、一緒にゲームをしたりして楽しいひとときを過ごしませんか。認知症患者の方だけでなく元気な高齢者、ご家族、お子様も含めてどなたでも参加していただけます。お気軽にお問い合わせ・お申し込みください。

母の付き添いで来ました。とても楽しそうな笑顔が見られました。連れてきてよかったです。

父の付き添いで来ました。私もセラピーされたみたい。心が落ち着きました。

愛情をもって育てられているドッグたちの様子がよくわかりました。

利用者様の声

いきがいライフたかまつ ドッグセラピー(集団)「オレンジカフェ」

どなたでも参加していただけます。看護師・介護福祉士が認知症相談に応じています。

- 開催日時 毎月第2・4水曜 13時～15時
※ドッグセラピーは13時30分頃から20分程度
- 喫茶協力 ボランティア団体「ひまわりの会」(高松地域)
- メニュー ドリンク(お菓子付き)各100円

会場 所 いきがいライフたかまつ 1階・地域交流ホール(岡山市北区立田586-1/ tel.086-287-8880)

参加申し込み先 介護高齢者ドッグセラピー普及協会 E-mail info@therapydog.jp

